令和７年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
41203鳥栖市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	放課後子ども教室（市内各まちづくり推進センターで実施）と放課後児童クラブ（なかよし会）との「校内交流型」の連携による実施ができていないことが、放課後児童クラブ所属の子どもたちにとって、実質的な参加への障壁となっていること。	・小学校内で校内交流型として放課後子ども教室を実施するため、両事業間の責任範囲に関する方針や学校施設の利用に関する方針を明確にする。 ・放課後児童クラブの児童らが安全・安心に放課後子ども教室へ参加できるよう、児童の送迎を協働活動サポーターとして担える地域人材の発掘を行う。 ・地域学校協働本部である各地区のまちづくり推進協議会が放課後子ども教室の実施主体となれるような体制の整備。	・小学校内で校内交流型として放課後子ども教室を実施するため、両事業間の責任範囲に関する方針や学校施設の利用に関して調整を行ったが、方針の明確化に至らなかったため再度協議を行い明確化を行う。 ・地域学校協働本部である各地区のまちづくり推進協議会の中で説明等の働きかけを行い、放課後子ども教室の実施主体となれるような体制の整備に繋げる。	全小学校区において、校内交流型による放課後子ども教室が実施できることを目指し、地域性に富んだもの等多様な体験活動や学習の機会を全児童に提供できる体制が整備される。 また、地域学校協働本部（各地区まちづくり推進協議会）が実施主体となることで地域の手による運営が可能となり、地域ボランティアを含む幅広い地域住民の参画が見込めるため、教員の業務負担軽減にも資する取組につなげられる。	年度内の放課後子ども教室参加子ども人数に占める放課後児童クラブ所属児童の割合	16	%	20	27	04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた	・今年度は、放課後児童クラブの教室に赴いたまちづくり推進センターが複数あり、放課後児童クラブの児童が参加しやすい環境であったため、目標値を達成することができた。しかし、まだ校内交流型の実施は少ないため、解決すべき課題（学校の空き教室の活用、人手不足等）の整理に取り組みたい。